

## 政策III 森林、林業・木材産業を支える地域や人材の育成

### 主な施策の実施状況

①林業における「就業環境の向上」と「人材の確保・育成」を一体的に展開するため、令和2年12月に設立した「みやぎ森林・林業未来創造機構」が、令和4年4月に開校した「みやぎ森林・林業未来創造カレッジ」において、各種研修を実施した。



みやぎ森林・林業未来創造カレッジ開校式



森林ビジネスコース

【概要】  
・みやぎ森林・林業未来創造カレッジの本格開校 [R4実績]24講座 (受講生：延べ253名)

②少花粉スギの生産拡大や、県産材による超厚合板の開発、きのこの栽培品種の開発等に係る試験研究を行った。



無花粉スギ個体の品種開発



超厚合板の強度性能試験

【概要】  
・少花粉スギ種苗生産  
・研究開発・技術実証



ハタケシメジ新品種の開発

(無花粉の遺伝子を持つ個体の人工交配)

③特用林産物を活用した地域産業の振興のため、原木しいたけのパッケージデザインの作成支援や、ハタケシメジの簡易施設栽培の指導など、特用林産物の販売力強化等に向けた支援を行った。



ハタケシメジ簡易施設栽培の説明会 原木しいたけパッケージデザイン



【概要】  
・販売開拓支援 [R4実績] 5回  
・ハタケシメジの栽培技術の現地指導 [R4実績] 7回

④自然や森林について県民理解の醸成を図るため、森林インストラクターの養成や木育活動を支援した。



宮城県森林インストラクター講座

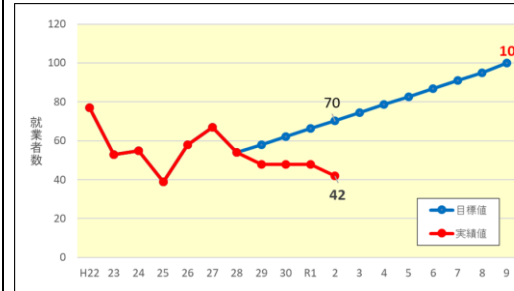


各種イベントでの木育活動

【概要】  
・森林インストラクター養成講座認定者 [R4実績]24名  
・木育活動支援 [R4実績] 8団体

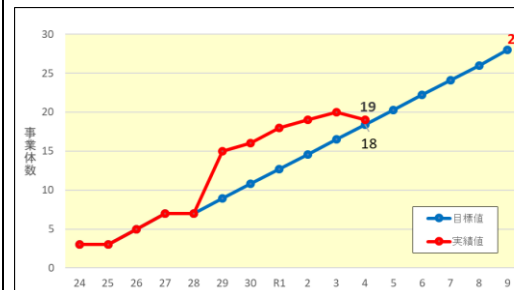
### 主な目標指標の達成状況

◎新規林業就業者数 [年間]



- 令和2年度の目標値70人に対して、実績値で42人となった。
- 他産業に比べ依然として低い賃金水準や労働環境の整備の遅れ等から、目標値を下回っている。

◎森林施業プランナー雇用林業事業体数 [累計]



- 令和4年度の目標値18事業体に対して、実績値で19事業体となった。
- 森林施業の集約化や森林経営管理制度への対応から、事業体において取得の取組が増加し、目標値を達成している。

## 政策IV 東日本大震災からの復興と発展

### 主な施策の実施状況

①復旧した海岸防災林（潮害、飛砂防備保安林）については全ての植栽が完了しており、植栽後の保育管理を実施したほか、震災の教訓継承と交流人口の拡大を図るため、地域のにぎわいづくりを行った。



海岸防災林の復旧状況

【概要】  
・海岸防災林の保育管理 [R4実績]  
県事業 下刈 100.7ha  
本数調整伐 5.5ha 等  
民間団体 下刈 65.8ha  
本数調整伐 11.8ha 等

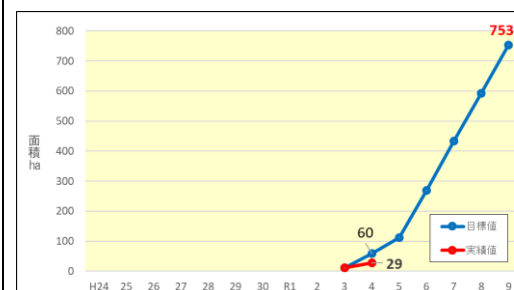
②特用林産物の出荷制限解除や生産拡大に向け、放射性物質検査の徹底や生産資材の購入支援等を行った。



竹林の放射性物質低減対策

【概要】  
・放射性物質検査（特用林産物）[R4実績] 3,932件  
・原木しいたけ等出荷制限解除  
・生産資材購入支援 [R4実績] 189千本  
・竹林の放射性物質低減対策  
・各種試験研究の実施  
しいたけ原木林の利用再開に向けた萌芽等の放射性物質濃度の低減に関する研究等

◎海岸防災林の保育管理面積 [累計]



- 施行箇所の調整等に時間を要し完了が遅れているため、目標値60haに対して、実績値で29haとなった。
- 引き続き、植栽木が健全に成長し、海岸防災林として飛砂、潮害等を防止する機能を十分に発揮できるよう、関係者と連携しながら保育管理を行っていく。



植栽木の生育状況



みやぎグリーンコーストプロジェクトの展開 (バスツアー)



みやぎ海岸防災林対話会の開催



放射性物質対策を行った原木しいたけ栽培



非破壊検査機を用いた検査 (タケノコ)



萌芽更新の放射性物質低減調査

③特用林産物振興協会の活動を支援するとともに、料理教室や販売会の開催等を通じて、特用林産物のPRを行った。



きのこ等の販売会チラシ



販売会の開催支援

【概要】  
・特用林産物販売会  
・料理教室・販売会 [R4実績] 計6回



たけのこ料理教室

④持続可能な森林経営を目指すため、森林認証の取得や森林認証材を使用した製品のPR活動などについて支援を行った。



森林認証を受けた森林 (南三陸町)

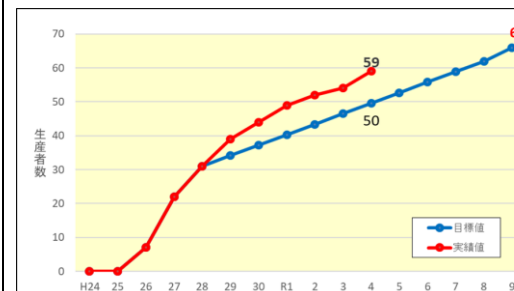
【概要】  
・森林認証年次監査の支援  
・森林認証普及活動 [R4実績] PR支援：6回



各種イベントでのPR活動

### 主な目標指標の達成状況

◎原木きのこ出荷制限(自粛)解除生産者数 [累計]



- 令和4年度の目標値50人に対して、実績値で59人となった。
- 栽培管理指導や原木購入支援により出荷制限解除を進めた結果、毎年生産者数が増加し、目標値を上回った。